

旧制第四高等学校校舎本館  
完成130周年記念

# 北辰の青春 赤レンガ校舎で 学んだ作家たち

明治24年に旧制第四高等学校(明治27年、旧制第四高等学校に改称)校舎本館が完成してから令和3年7月で130年を迎えるにあたり、当館常設展示作家の中から、この赤レンガ校舎で学び、青春時代を過ごした10人の四高での生活やその後の業績を自筆資料や初版本、遺品などで紹介する企画展を開催します。

今回の展示では現在でも作家として広く名前を知られている中野重治や森山啓、井上靖、杉森久英、高橋治だけでなく、それぞれの専門分野で功績を残しながらも名随筆家と言われた物理学者・中谷宇吉郎や建築家・谷口吉郎などの作品も紹介します。また、「四高卒業生」とはあまり知られていないジャーナリスト・桐生悠々や芥川賞作家・桜田常久、演劇家・北村喜八といった作家についても、平成20年のリニューアル後、久しぶりとなる展示を行います。

卒業生である彼らはみな、「四高」や白らの在学体験を題材に小説や随筆を残しており、地元出身であるか否かは関係なく、この「四高」が彼らにとって大切な青春の地だったことがわかります。

残された作品は楽しさや喜びに彩られたものばかりではなく、怒りや悲しみが色濃くにじむ作品も多くあります。青春時代を映し、人生の分岐点に立った心境を描いた彼らの作品を紹介することにより、この校舎で学んだ人々の体験や思いが、生き生きと鮮やかに現代を生きる私たちにも伝わるような企画展になればと考えています。他に、在学中はぐんだ彼らの交友関係が、その後の人生でも続いたことなどにも言及できればと思っています。

## 展示作家



**桐生 悠々** 明治6年～昭和16年(1873～1941) 明治28年一部法科卒業  
ジャーナリスト。金沢市生。在学中に文学を志し徳田秋聲と上京。後に復学し「北辰会雑誌」に携わる。東大卒業後、反骨精神を貫く生涯を送る。



**桜田 常久** 明治30年～昭和55年(1897～1980) 大正8年一部法科卒業  
小説家。大阪府生。在学中「北辰会雑誌」に執筆。東大卒業後、ドイツ語教師の傍ら北村喜八と戯曲を翻訳。半農生活後、「平賀源内」で芥川賞。



**北村 喜八** 明治31年～昭和35年(1898～1960) 大正10年一部法科卒業  
演劇家。小松市生。在学中「北辰会雑誌」の編集に携わり、歌集を自費出版。東大卒業後、築地小劇場に参加。多くの欧米戯曲を翻訳・演出。



**中谷 宇吉郎** 明治33年～昭和37年(1900～1962) 大正11年理科甲類卒業  
物理学者・随筆家。加賀市生。在学中に推薦を受け、篤志家の援助で東大に進み、寺田寅彦に師事。北大教授時代に世界初の人工雪製作に成功。



**中野 重治** 明治35年～昭和54年(1902～1979) 大正13年文科乙類卒業  
文学者。福井県生。在学中「北辰会雑誌」の編集に携わる。東大在学中よりプロレタリア芸術運動に関わり、卒業後、プロレタリア文学活動の中心となる。



**森山 啓** 明治37年～平成3年(1904～1991) 大正14年文科乙類卒業  
小説家。新潟県生。在学中「北辰会雑誌」に執筆。東大在学中よりプロレタリア文学運動に参加。戦中、石川に移住し生涯を文学活動に捧げた。



**谷口 吉郎** 明治37年～昭和54年(1904～1979) 大正14年理科甲類卒業  
建築家・随筆家。金沢市生。在学中、関東大震災により建築家を志す。東大卒業後、東工大教授。建築事務所設立後は東宮御所や数多くの文学碑を設計。



**井上 靖** 明治40年～平成3年(1907～1991) 昭和5年理科甲類卒業  
小説家。北海道生。在学中は柔道に熱中。退部後に詩作を始める。京大在学中に小説、戯曲、詩など執筆。毎日新聞社在籍中に「闘牛」で芥川賞。



**杉森 久英** 明治45年～平成9年(1912～1997) 昭和6年文科甲類卒業  
小説家。七尾市生。在学中、文学を志す。東大在学中「新思潮」に参加。教員、編集者を経て作家に。「猿」で芥川賞候補、「天才と狂人の間」で直木賞。



**高橋 治** 昭和4年～平成27年(1929～2015) 昭和25年文科乙類卒業  
小説家。千葉県生。泉鏡花に憧れ四高に入学。在学中は映画と野球に熱中。四高最後の卒業生。東大卒業後、松竹勤務を経て、「秘伝」で直木賞。

## 特別公開

桐生悠々旧蔵 小原古邨肉筆画「三猿」 展示期間：令和3年4月24日(土)～5月23日(日)

※その後の企画展開催期間中は写真パネルでの展示となります

## 関連朗読会

[時間] 14:00～15:00

[会場] 石川四高記念文化交流館 多目的利用室

定員13名(開催日1ヶ月前より要電話申込)

参加費無料

4月29日  
(木・祝)

「理系男子の四高生活-中谷宇吉郎と谷口吉郎の随筆」

[作品] 中谷宇吉郎・作「若き日の思い出」(抄)「科学以前の心」(抄)他 / 谷口吉郎・作「四高時代」「建築家志望」

[朗読] 西本 浩明氏(演芸列車「東西本線」)

5月8日  
(土)

井上靖顕彰朗読会「北の海」

[作品] 井上靖・作「北の海」(抄)「青春を賭ける一つの情熱」

[朗読] 茶谷 幸也氏(フリー)

6月12日  
(土)

「石の微笑み」

[作品] 高橋 治・作「石の微笑み」

[朗読] 吉村 圭子氏(演劇ユニット K-CAT)

7月3日  
(土)

「静かなる湖底」

[作品] 桜田常久・作「静かなる湖底」(抄)

[朗読] 西川 章久氏(元北陸放送アナウンサー)

8月1日  
(日)

「時習寮怪談鈔」

[作品] 正橋剛二・翻刻「時習寮怪談鈔」(抄)

[朗読] 高田 伸一氏(ナレーター)

## 次回企画展予告

企画展 「生誕150周年記念 徳田秋聲」(仮題) 令和3年9月18日(土)～12月26日(日)

## ポスター・チラシ イラスト&デザイン

新井 浩：金城大学短期大学部美術学教授

マンガ・キャラクターコースで指導をする傍ら、イラストレーターとして活動。

平成19年、当館にて開催した企画展「生誕100周年記念 井上靖と青春の地 金沢—小説「北の海」を中心に—」では、「北の海」作品紹介パネルの制作(イラスト&デザイン)を担当。

## お問い合わせ 公益財団法人 石川近代文学館

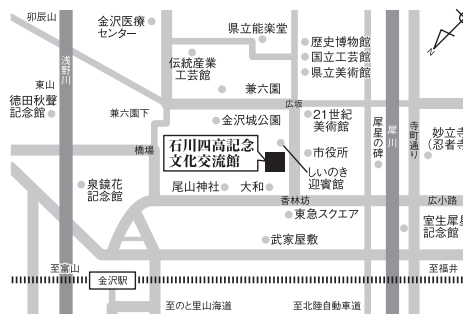
〒920-0962 石川県金沢市広坂2丁目2番5号  
石川四高記念文化交流館内 TEL 076-262-5464  
URL <http://www.pref.ishikawa.jp/shiko-kinbun/>

## 《交通のご案内》

- ・JR金沢駅から北陸鉄道バスに乗車、香林坊下車 徒歩2分
- ・JR金沢駅から車で10分

●展示資料は都合により変更となる場合があります。

●新型コロナウイルスの流行状況によりイベントが延期・中止になる場合、または開催状況が変更になる場合があります。



## 館からのお知らせとお願い

新型コロナウイルス感染症対策として、ご入館の際はマスクの着用・検温にご協力をお願いいたします。37.5度以上の発熱や咳、強い倦怠感のある方のご入館はお断りさせていただきます。入退館時は手指の消毒を行ってください。館内では会話を控え、順路の掲示に従ってご観覧ください。感染防止のため、ご協力をお願いいたします。